

2018年11月16日

各位

会社名 株式会社豆蔵ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐藤 浩二
(コード：3756、東証第一部)
問合せ先 I R担当
(TEL. 03-5339-2100)

当社子会社における会社分割(吸収分割)による事業の承継に関するお知らせ

当社連結子会社のセンスシングスジャパン株式会社(以下、「センスシングスジャパン」といいます)は、2018年11月16日開催の取締役会において、株式会社メガチップス(以下、「メガチップス社」といいます)よりシステム事業を会社分割(以下、「本会社分割」といいます)により承継する事で合意致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業承継の理由・目的

当社グループは、業務及び組み込みシステムにおけるコンサルティング・受託開発、技術者教育、経営コンサルティング、ソフトウェア製品開発・販売を主要事業とし、一般企業の情報システム部門、IT企業、製造業の開発部門、IT企業の人事部門等を支援しております。また、これと並行して、当社グループでは、エンジニアリング・ソリューション部門で、モノづくり自体を手掛け始めており、IoTの技術蓄積を行いつつ、新たな領域でのサービスの提供も進めております。

一方、メガチップス社は独自のアナログ/デジタル/MEMS技術を駆使したシステムLSI及び当該製品を利用したソリューションを提供するファブレスメーカーであります。今回、セキュリティ・モニタリング用途向けに、主としてデジタル監視システム提供しているシステム事業を、当社グループが吸収分割により承継する事で合意致しました。

当社グループが承継するメガチップス社のシステム事業が手掛ける監視カメラ市場は、単体製品で捉える市場ではなく、製品を使ってどのようなサービスを提供するかが求められる市場となりつつあります。これまでメガチップス社が培ってきたカメラデバイスの技術と当社のソフトウェア技術の有機的連携を行うことで、サービスの付加価値向上及びビジネスの拡充を図ってまいります。

また、近年は当社グループでのサービス提供について、ソフトウェアのみならず、産業用ロボット向け開発支援、ドライブレコーダー、車載向けLogger端末機器などハードウェアも含んだサービス、製品の提供が拡大しており、今後とも拡大することが見込まれます。メガチップス社のシステム事業が有するファブレスメーカーとしてのハードウェア企画開発や製品の量産管理に関するノウハウ、エッジコンピューティング技術を当社グループが承継する事により、これまで当社グループが進めてきたIoTなどの技術拡充を進め、事業の拡大はもとより、さらなる経営の安定化を図ってまいりたいと考えております。

2. 本会社分割の要旨

(1) 会社分割の日程

吸収分割契約承認取締役会決議 (当社及びセンスシングスジャパン並びにメガチップス社)	2018年11月16日
吸収分割契約締結日	2018年11月16日
吸収分割承認株主総会決議 (センスシングスジャパン)	2018年12月19日(予定)

実施予定日(効力発生日)

2019年1月1日(予定)

(注) 本会社分割は、分割会社であるメガチップス社においては会社法第784条第2項に規定する簡易吸収分割要件に該当するため、メガチップス社は株主総会の承認を得ずに行う予定です。

(2) 本会社分割の方式

メガチップス社を分割会社とし、当社の子会社であるセンスシングスジャパンを承継会社とする吸収分割であります。

(3) 本会社分割に係る割当ての内容

センスシングスジャパンは、本会社分割に際し、メガチップス社に対して、承継する資産等の対価として、現金800百万円を交付いたします。

(4) 本会社分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(5) 本会社分割により増減する資本金

本会社分割による資本金の増減はありません。

(6) 承継会社が承継する権利義務

センスシングスジャパンは、メガチップス社から効力発生日における分割対象事業に関する資産及び負債並びにこれらに付随する権利義務を承継いたします。なお、債務の承継については、重畳的債務引受の方法によります。

(7) 債務履行の見込み

センスシングスジャパンは、2015年に設立した会社であり、最終事業年度において負債が資産を上回る状態ではありますが、本会社分割の効力発生日以後も、必要に応じて、完全親会社である当社から借入れ等を行う予定であるため、債務の履行を含め、事業運営に必要となるキャッシュフローを確保することは可能と判断しており、本会社分割の効力発生日以降に負担すべき債務について、履行の見込みに問題はないと判断しております。

3. 本会社分割に係る割当ての内容の根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

当社及びセンスシングスジャパンは、本会社分割に際して公正性・妥当性を期すため、独立した第三者算定機関である株式会社明治通り会計社(以下「明治通り会計社」といいます)に分割対象事業の事業価値の算定を依頼いたしました。

当社は、第三者算定機関による算定結果及び対象事業の状況並びに当社との統合効果を反映した将来の見通し等を総合的に勘案し、両社間で本吸収分割について慎重に協議を重ねた結果、「2. 本吸収分割の概要」の「(3) 本会社分割に係る割当ての内容」に記載の額が妥当であるとの判断に至り吸収分割契約を締結しました。

(2) 算定に関する事項

① 算定機関の名称並びに当事会社との関係

当社及びセンスシングスジャパンが対象事業の事業価値の算定を依頼した明治通り会計社は、当社及びセンスシングスジャパン並びにメガチップス社の関連当事者には該当せず、本吸収分割に関して記載すべき重要な利害関係はありません。

② 算定の概要

明治通り会計社は、対象事業の価値算定にあたり、本吸収分割後も当社において対象事業が継続される前提であり、継続して事業を営むことで期待されるキャッシュフローに基づき評価を行うことに一定の合理性があると思料したため、インカムアプローチに属するディスカунテッド・キャッシュフロー法(以下、「DCF 法」という)を採用して分割対象事業の事業価値の算定を行いました。

DCF 法の算定の前提として、メガチップス社から提示された事業計画を基に、当社が本分割実施による影響などの修正を加えた 2019 年 3 月期から 2021 年 3 月期までの財務予測を基礎とし、将来キャッシュフローを一定の割引率で現在価値に割り引くことにより事業価値を評価しています。

本吸収分割対価の想定レンジ 753 百万円～880 百万円

当社及びセンスシングスジャパンは、明治通り会計社による算定結果を参考に、当社グループとの統合効果を反映した将来の見通し等を総合的に勘案した結果、最終的に上記の分割対価が妥当であると判断しました。

4. 本会社分割の当事会社の概要

	分割会社 (2018 年 9 月 30 日現在)	承継会社 (2018 年 9 月 30 日現在)
(1) 名称	株式会社メガチップス	センスシングスジャパン株式会社
(2) 所在地	大阪府大阪市淀川区宮原 1 丁目 1 番 1 号	東京都新宿区西新宿 2 丁目 7 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 高田 明	代表取締役社長 鹿島 周太郎
(4) 事業内容	独自のアナログ/デジタル/MEMS 技術を駆使した LSI および MEMS タイミングデバイスの設計、開発、生産までトータルソリューションの提供	IoT 技術を活かした製品及びサービスの研究開発及び販売
(5) 資本金	4,840 百万円	95 百万円
(6) 設立年月日	1990 年 4 月 4 日	2015 年 7 月 13 日
(7) 発行済株式数	23,038,400 株	3,800 株
(8) 決算期	3 月期	3 月期
(9) 従業員数	544 名	3 名
(10) 主要取引先	任天堂株式会社	オリックス自動車株式会社 GMO クラウド株式会社
(11) 主要取引銀行	株式会社三菱 UFJ 銀行	株式会社三菱 UFJ 銀行
(12) 大株主及び持株比率	(有)シンドウ 5.7% (株)シンドウ・アンド・アソシエイツ 5.7% 日本トラスティ・サービス 4.9% 信託銀行(株) (信託口 9) 4.4% THE BANK OF NEW YORK 133524 4.4% 松岡茂樹 3.7%	(株)豆蔵ホールディングス 100.0%

(13) 当社と当事会社間の関係		
資本関係	該当事項はありません。	当社の100%子会社に該当します。
人的関係	該当事項はありません。	当社の代表取締役社長佐藤浩二はセンスシングスジャパンの取締役を兼務しております。
取引関係	該当事項はありません。	当社はセンスシングスジャパンに対して経営指導及び資金の貸し付けを行っております。
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	当社はセンスシングスジャパンの親会社に該当します。

(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態

	分割会社 (連結)			承継会社 (単体)		
	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
純資産(百万円)	28,846	27,631	31,184	146	△83	△74
総資産(百万円)	69,921	80,465	94,633	261	127	128
1株当たり純資産(円)	1,341.86	1,280.71	1,435.37	38,587.67	△21,961.22	△19,684.16
売上高(百万円)	55,662	67,438	89,029	67	108	229
営業利益(百万円)	△335	1,926	2,709	△57	△67	11
経常利益(百万円)	313	994	2,207	△59	△69	9
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	△782	△947	1,948	△43	△230	8
1株当たり当期純利益(円)	△35.24	△44.14	90.05	△11,412.33	△60,548.89	2,277.06
1株当たり配当金(円)	34.0	34.0	34.0	—	—	—

5. 分割又は承継する部門の概要

(1) 分割又は承継する部門の事業内容

セキュリティ・モニタリング用途向けの映像監視システムの設計、開発、生産及び販売

(2) 分割又は承継する部門の経営成績

売上高 4,494百万円 (2018年3月期)

(3) 分割又は承継する資産、負債の項目及び帳簿価格(2018年9月30日)

(単位：百万円)

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	433	流動負債	202
固定資産	357	固定負債	—
合計	790	合計	202

(注) 1. 百万円未満の金額を切り捨てて表示しております。

2. 分割又は承継する資産、負債の金額は、効力発生時点までの増減を加除したうえで確定されます。

6. 本会社分割後の状況

本吸収分割によるセンスシングスジャパンの名称、所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

7. 今後の見通し

本件に伴う当社における影響につきましては現在精査中でありますので、当該予想の修正が必要となる場合は、速やかに公表いたします。

以 上